

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

— Yokohama Brain and Spine Center —

脳卒中・神経疾患・脊椎脊髄疾患の急性期医療と
リハビリテーションを行う専門病院です



横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

Yokohama Brain and Spine Center

脳卒中・神経脊椎センターの紹介

診療科：8科

脳神経内科 脳神経外科

整形外科 循環器内科

リハビリテーション科 眼科

放射線科 麻酔科

水頭症センター

MCI・認知症センター

病床数：300床

一般病棟 146床

地域包括ケア病棟 52床

回復期リハビリ病棟 102床

平均在院日数

一般病棟 17.9日

地域包括ケア病棟 18.6日

回復期リハビリ病棟 90.0日

入院患者 平均248.8人/日

外来患者：平均166.6人/日

院外処方箋発行率：97.0%

※データはR8.3月時点



横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

Yokohama Brain and Spine Center

脳卒中・神経脊椎センターの特徴

病床

- ・ 急性期病床
- ・ 地域包括ケア病床
- ・ 回復期病床

診療範囲

- ・ 脳卒中・神経疾患
- ・ 脊椎疾患

疾患の特徴

- ・ 麻痺や障害が残存しやすい
- ・ リハビリが機能回復に有効な疾患

当院の特徴・利点

急性期治療から回復期リハビリまで同じ病院で治療を継続できる珍しい病院

当院の特徴

- ・ 医師の数が少ない
- ・ 看護師の数も少ない

当院の特徴

薬のことは薬剤師が受け持つ



アクセス

- ①JR根岸駅から市営バス135系統利用で約12分
- ②市営地下鉄ブルーライン「吉野町」駅 からバス+徒歩で約15分



薬剤部の理念

- 医療安全に貢献できる薬剤師を目指します
- チーム医療に積極的に参画します
- 市民に安心・安全で良質な医療の提供を目指します
- 病院経営を常に考えて業務を遂行します
- 相手を思いやれる職場・働きやすい職場を目指します





薬剤部の方針

- 専門性を活かして薬物療法の中心的役割を担う
- 医療安全、チーム医療に積極的に取り組む
- 個人、部署ともに相手の立場を理解した上で協働する

薬剤部の構成

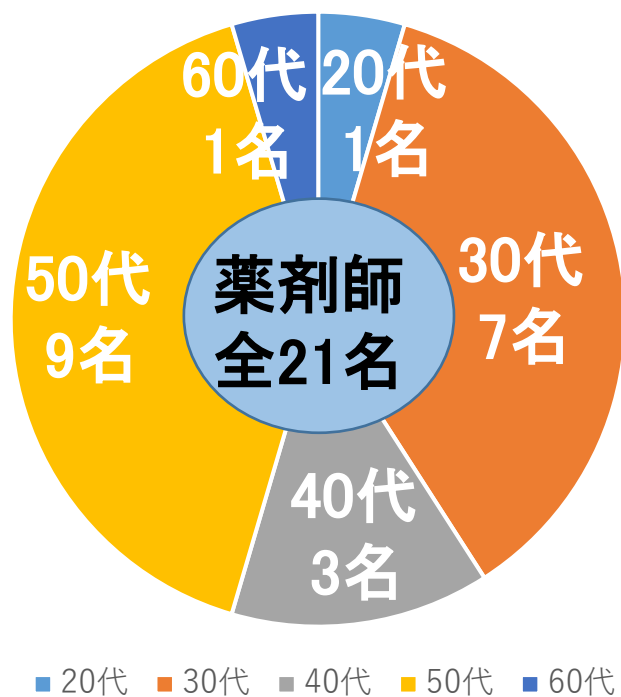
薬剤部長は副病院長（医師）が兼務

薬剤師21名：副薬剤部長 1名 担当係長 1名 職員19名

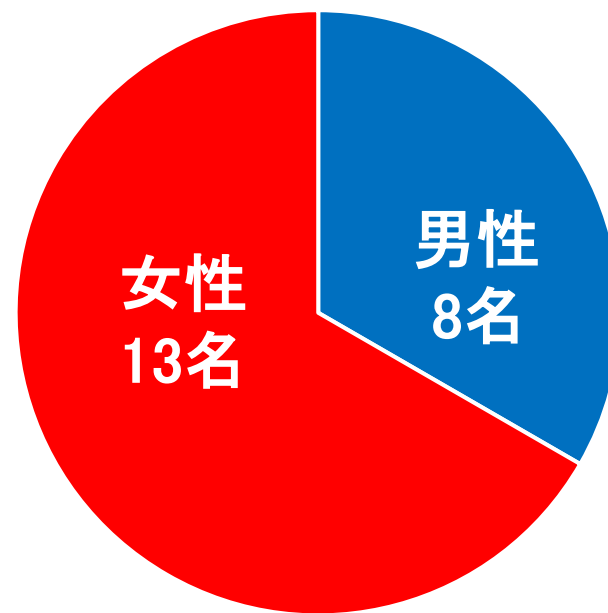
（うち短時間勤務3名会計年度2名）

24時間、365日（日勤・夜勤体制）

年齢構成



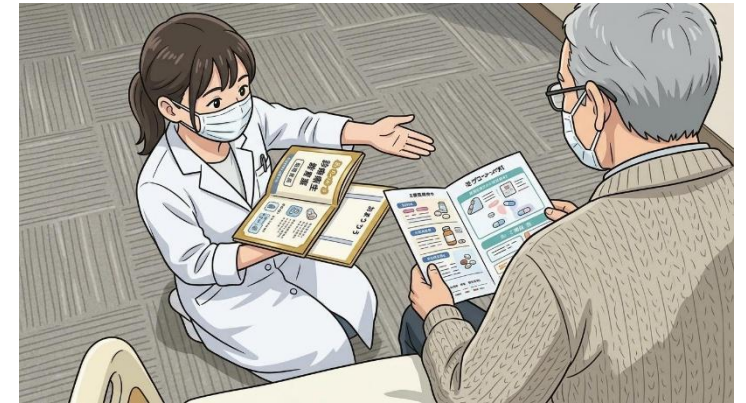
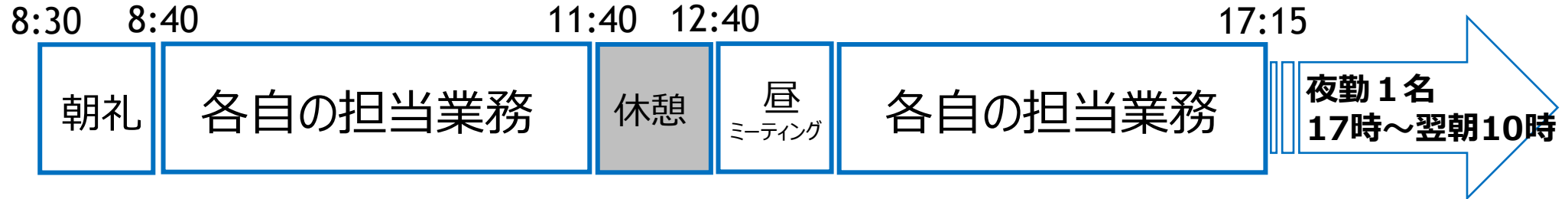
男女比



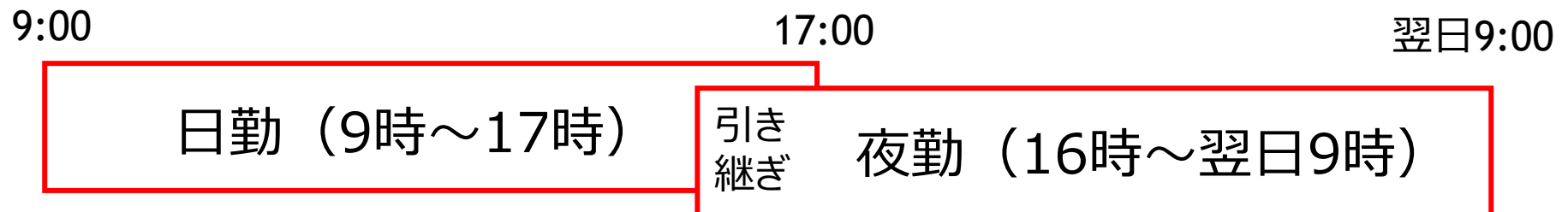
勤務時間

週休2日（土・日曜日、祝日）、休日日勤・夜勤あり

平日
日勤者



休日・
休前日



※このスライドのイラストは生成AIで作成しました

16:00

調剤機器・システムの導入

令和3年導入



令和6年1月更新



令和6年導入



令和6年3月導入



令和5年3月導入



R7年度
処方チェックシステム導入

R8年度
搬送ロボット導入予定



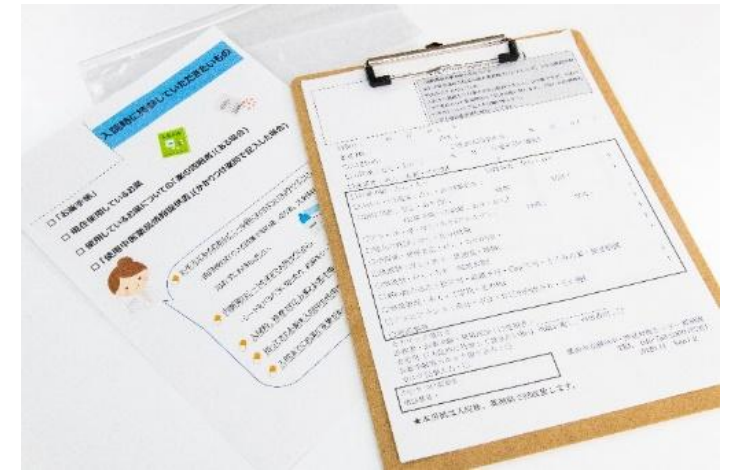
横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

Yokohama Brain and Spine Center

入院前面談と外来患者指導

◆入院前面談

- 予定入院患者に対する入院前面談の実施
- 内服歴、副作用歴、アレルギー歴等の確認
- 必要時には術前の休薬指導を実施



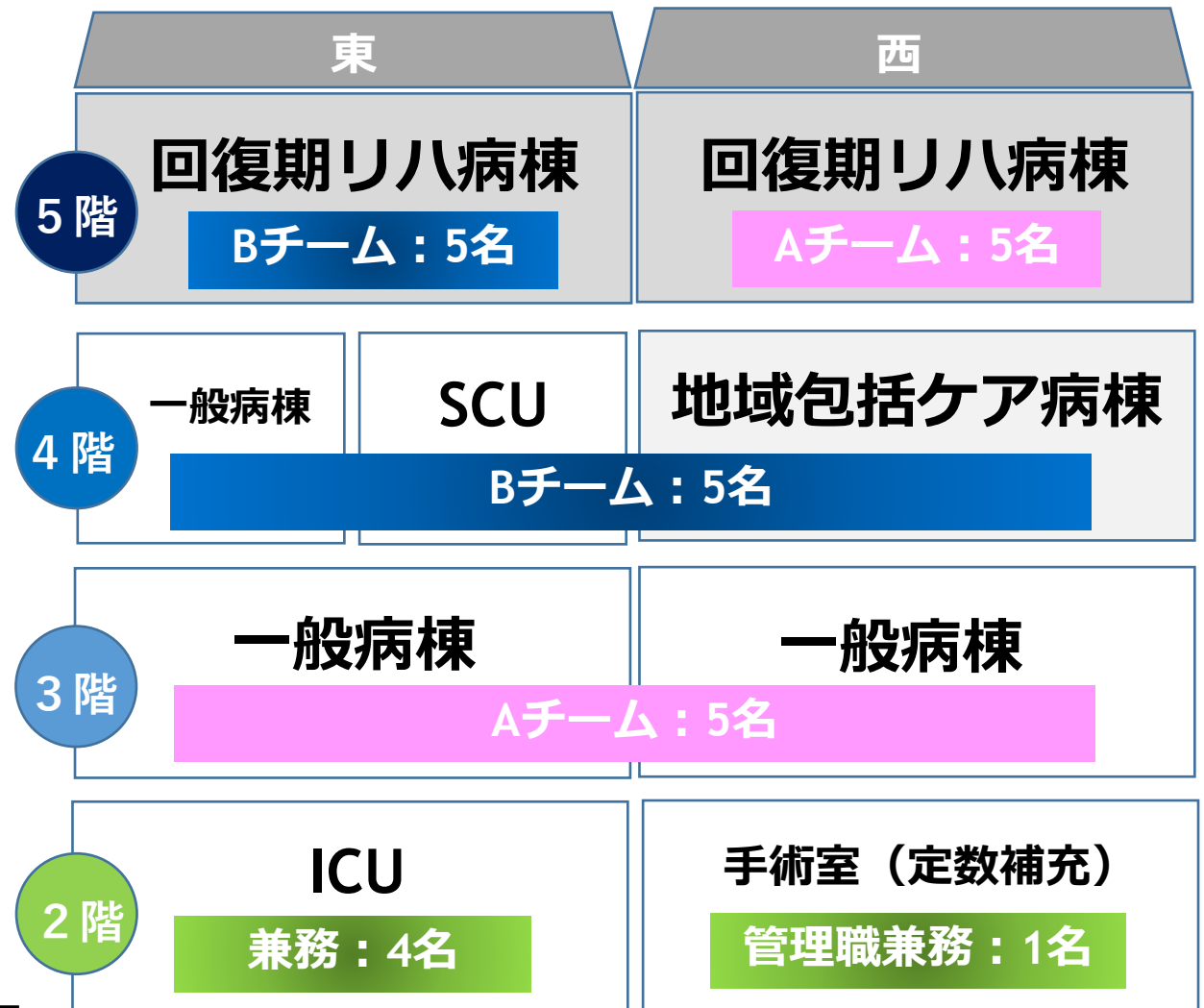
◆自己注射導入指導

- 外来院外処方の方含めて導入の指導を実施
- テリボン、テリパラチド、フォルテオ、アジヨビ、オスタバロなど



病棟業務体制

- ・ チーム制、フリー患者制で実施
- ・ Aチーム：3階と5階西病棟を担当
Bチーム：4階と5階東病棟を担当
- ・ 算定が取れない包括病棟（4階西、5階）にも薬剤師を配置
- ・ カンファレンスやチーム医療への参画
- ・ 中央業務（調剤・注射セット）は各チームに時間で割り振り
- ・ 業務の標準化、均等化、可視化を実施



チーム医療活動への参画

感染制御チーム ICT	抗菌薬の選択や消毒剤の使い方などを提案することで、多職種と連携して適切な感染管理を行っています
栄養サポートチーム NST	患者の最適な栄養管理を行うために、薬剤や輸液の提案から、治療、回復、退院を支援しています
褥瘡対策チーム PUT	皮膚科医師、看護師、管理栄養士、薬剤師の計6名で、月2回対象患者のもとへラウンドを行っています
認知症サポートチーム DST	カンファレンスや病棟ラウンドで、薬剤調整や治療薬選択に関する助言など行っています
救急サポートチーム EST	救急バッグ搭載薬品の定期的な見直しや、使用後の救急バッグへの薬剤補充を行っています
術後疼痛管理チーム APS	ラウンドで術後の疼痛評価を行い鎮痛薬の使用方法など提案しています



専門・認定薬剤師

(令和8年3月現在)

感染制御認定薬剤師	2名
日病薬病院薬学認定薬剤師	10名
栄養サポートチーム専門療法士	2名
臨床栄養代謝専門療法士	1名
日本糖尿病療養指導士	3名
認定実務実習指導薬剤師	4名
日本薬剤師研修センター認定薬剤師	1名
漢方薬・生薬認定薬剤師	1名
医療情報技師	3名
スポーツファーマシスト	1名
老年薬学認定薬剤師	1名

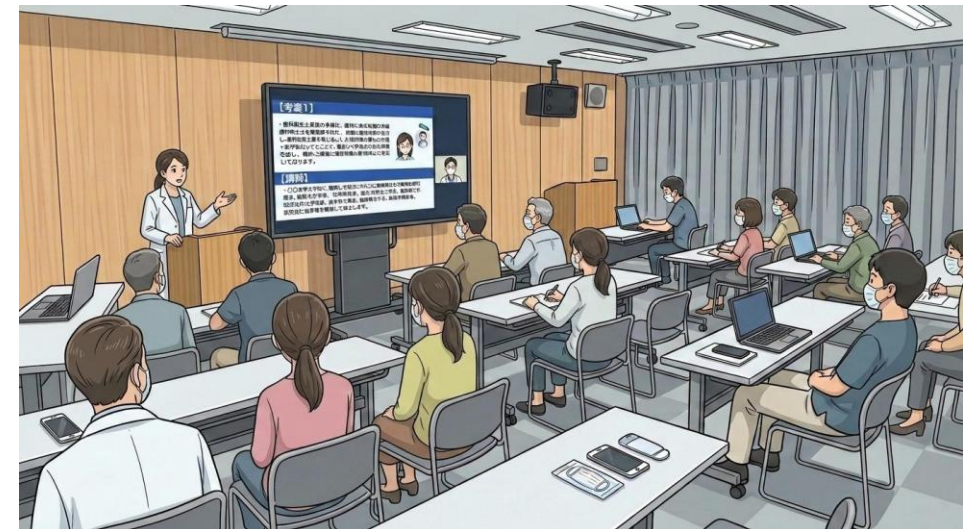


横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

Yokohama Brain and Spine Center

人材育成

- 学会、研修会、講習会の参加希望を年度初めに申請
 - 学会参加費は病院、薬剤部内で原則負担
 - 学会発表等の積極的な支援
 - 専門・認定取得の症例指導などのフォロー体制
-
- 磯子区薬剤師会と年3回勉強会を共催
 - 横浜市民病院主催の勉強会にも参加可能
 - 横浜市民立市民病院への研修派遣あり



薬剤部におけるトレーナー制度

- トレーナー担当となった先輩職員が新職員に対して、社会人としてのマナー、業務を進める際のアドバイスをしています。
(新人 1 人に対して、トレーナー 1 人)



適切なアドバイスを
提供します！

業務目標の立て方
課題解決方法
疾患や薬剤について
メールマナー等・・・

1日のスケジュール（例）

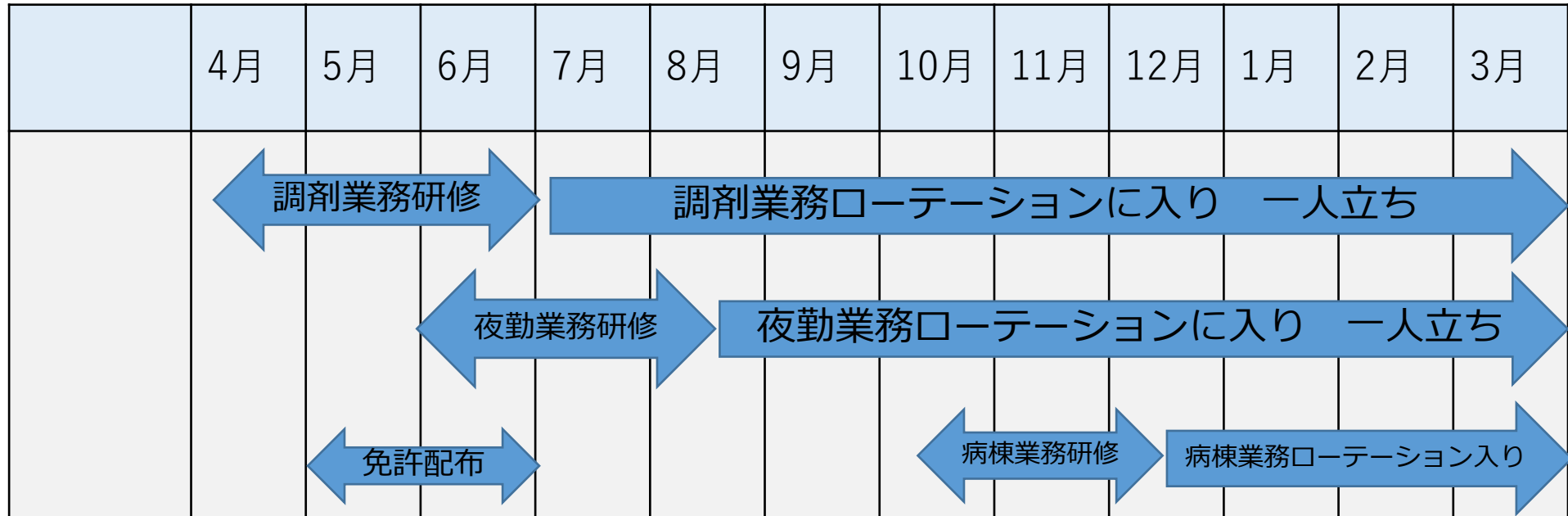


8:30	出勤・朝ミーティング
8:45	HCU病棟カンファレンス
9:00	病棟での末梢注射の混注
9:30	入院予定患者の情報を電子カルテで確認
10:00	初回面談・持参薬鑑別・処方提案
11:00	医師・看護師と患者情報の共有、相談応需
11:40	ランチ
12:40	昼ミーティング（患者情報共有／DI／インシデント報告）
13:00	入院患者の内服カートセット／入院前面談
14:30	NSTカンファレンス・病棟ラウンド
15:30	入院患者の薬剤指導／退院指導
16:00	神経内科カンファレンス
17:00	患者指導記録作成
17:15	帰宅

※このスライドのイラストは生成AIで作成しました



1年目の年間スケジュール（例）



安心して下さい



研修はトレーナーと他の職員とで随時到達度を確認しながら進んでいきます。
夜勤業務の開始日等も研修の進み具合に合わせて調整してます。
トレーナー以外の先輩職員が何事にもサポートしてくれます！

